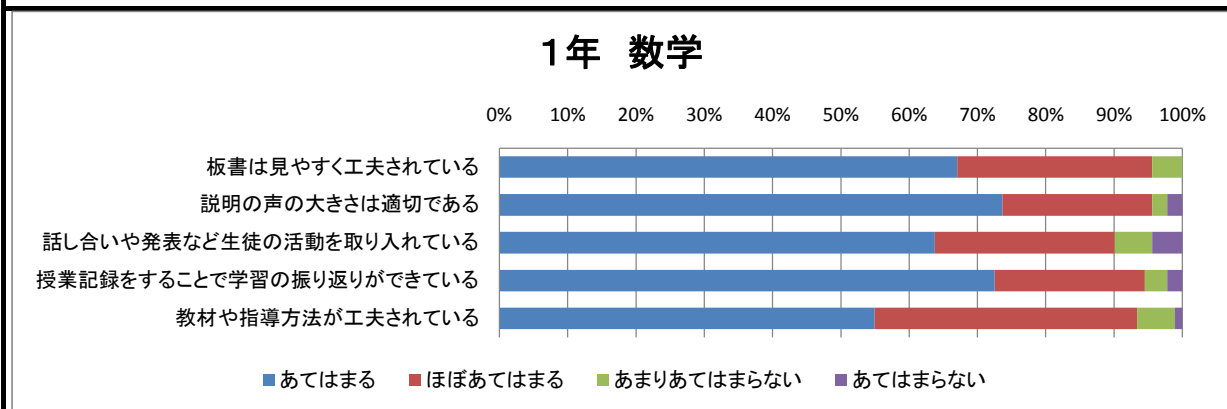


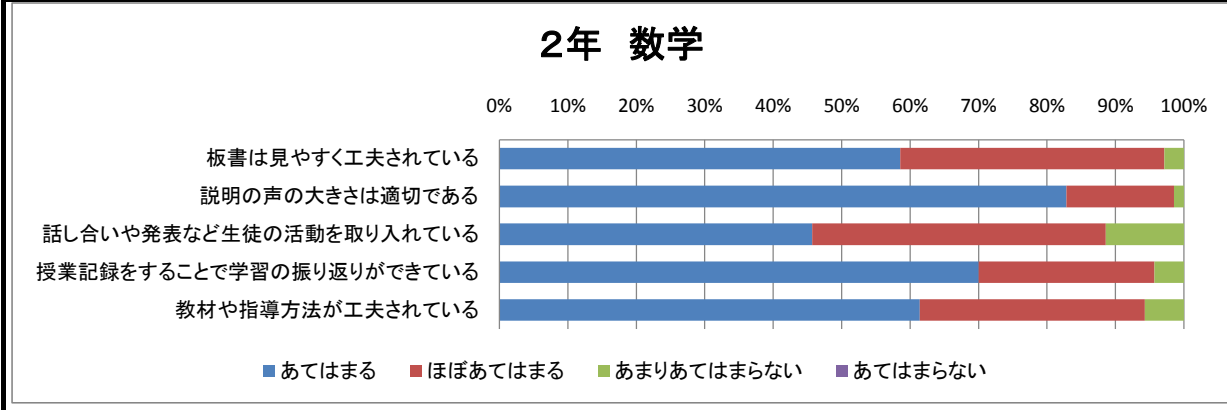
H30年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

教科	数学	重点目標	基本的な計算力を身に付ける。 文章・図・グラフから答えを導く力を身に付ける。
----	-----------	------	---

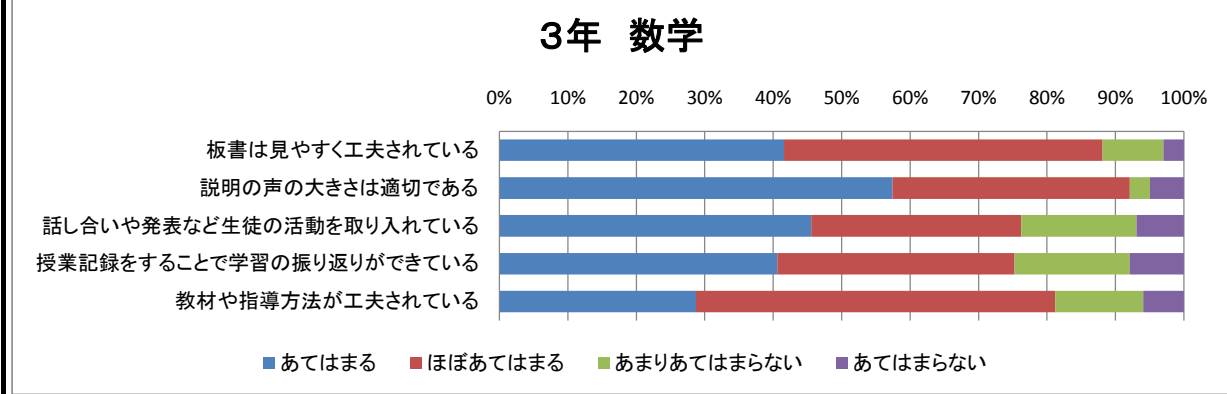
学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析
どの項目においても、「あてはまる」「ほぼあてはまる」を合わせた人数が90パーセント以上で、生徒からの評価は高いといえる。ただし、「教材や指導方法が工夫されている」の観点は「あてはまる」の人数が他に比べると少ないので、教材研究を今以上に深めていく。また、学び合いの時間もなるべく多く取り、それを生徒が発表できるような授業展開にしていく。



分析
どの項目でも肯定的な回答が80%を超えている。今後も教材等を工夫するために授業準備をしていきたい。その中でも話し合いや発表の項目で「あてはまる」という回答が50%に達していない現状なので、授業の中での学び合いの仕組みを入れていきたい。また、生徒達が自ら教え合い等が始まるような雰囲気を作れるような工夫も必要と感じた。今年度から授業記録についてのアンケートを取ったが、生徒達も必要性を感じていることがわかった。更に書式等を工夫して有用性を高めていきたい。



分析
板書や説明の声の大きさについては肯定的な回答が90%近くある。教材は1・2年生と同様に授業プリントを作成して、書き写すことよりも考えることに重点をおけるように工夫している。しかし、教材や指導方法の項目で「あてはまる」と回答している生徒は30%に満たない。ただ肯定的な回答は80%を越えているので生徒の様子を見て、今後教材をどの様にするかを考えていきたい。話し合いや発表の項目で肯定的な回答は70%あるが、「あてはまる」と回答している生徒は50%に達していない。授業の中で、生徒同士学び合う時間を確保したい。授業記録については肯定的な意見が70%を越えている。振り返りによる効果を感じているといえる。教員全員がその授業の目標を明確に板書し、生徒が何を学ぶのかをわかって学べるようにし、振り返りがスムーズにできるようにしたい。